



第46回全国豊かな海づくり大会

千葉県実行委員会

第2回総会



資料

令和8年3月27日（金）

中庁舎10階大会議室

目次 第2回総会

<議 題>

第1号議案

【資料1】第46回全国豊かな海づくり大会基本計画（案）について

【資料2】「大会テーマ」及び「大会専用コスチュームデザイン」
入賞作品の選定について

【資料3】海上歓迎行事（漁法紹介・漁船パレード）について

【資料4】「御放流魚」及び「お手渡し魚」の選定について

第2号議案

【資料5】令和8年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について



第46回

全国豊かな海づくり大会

ちばけん
～ふさの国 千波県大会～

基本計画（案）



令和8年3月

第46回全国豊かな海づくり大会

千葉県実行委員会

目次

I 全体概要

1	大会概要	1
2	開催意義	2
3	基本理念	5
4	基本方針	5

II 大会計画

1	全体計画	6
2	式典行事	10
3	海上歓迎・放流行事	12
4	御放流魚種・お手渡し魚種	14
5	歓迎レセプション	15
6	関連行事	16
7	その他の行事	17
8	大会運営計画	18
9	荒天時等計画	19

III 機運醸成・広報計画

1	機運醸成に向けた取組	20
2	情報発信の取組	24

IV	実施スケジュール	25
----	----------	----

I 全体概要

1 大会概要

- (1) 大会名称 第46回全国豊かな海づくり大会～ふさの国 ^{ちばけん}千波県大会～
- (2) 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第46回全国豊かな海づくり大会千葉県実行委員会
- (3) 開催時期 令和9年11月14日（日曜日）
- (4) 開催場所 式典行事 千葉県東総文化会館（旭市）
海上歓迎・放流行事 銚子漁港（銚子市）
関連行事 開催市ほか（検討中）

(5) 行事内容（予定）

【式典行事】

豊かな海づくり活動功績団体表彰、最優秀作文の発表、
漁業者メッセージ、大会決議、大会旗引継など

【海上歓迎・放流行事】

漁船などによる海上歓迎パレード、稚魚等の放流など

【歓迎レセプション】

本県の農林水産物を豊富に使用した“おもてなし”など

【関連行事】

絵画・習字コンクールの優秀作品の展示、企画展示や特産品販売など



第12回 千葉県大会

(6) 大会テーマ

「つくろうよ 命が謳う 明日の海」

(7) 大会ロゴマーク、大会キャラクター、大会コスチュームデザイン

【大会ロゴマーク】

「千葉の海ロゴマーク」を
大会ロゴマークとする。



千葉県マスコットキャラクター
チーパくん



【大会キャラクター】

【大会コスチュームデザイン】



2 開催意義

(1) 千葉県の特徴

千葉県は、首都圏の東側に位置し、太平洋に突き出た半島となっており、地形は、200～300メートル級の山々が続く房総丘陵を除き、ほぼ平坦となっています。海岸線の長さは、531キロメートル（令和5年3月31日現在）に及び、変化に富んだ景観を有しています。

また、三方を海に囲まれている本県では、豊かな海の幸がもたらす食文化や、^{まいわい}万祝、大漁旗といった独自の伝統的な漁業文化、波の表現に優れた彫刻師の波の伊八や、サーフィンや野外フェスなどの豊かな自然環境を生かした新たな文化まで、多様で魅力ある文化芸術が育まれています。

このように、首都圏にありながら美しい海岸線や豊かな自然に囲まれ、魅力的な観光地や多様な文化を有しているほか、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候から得られる美味しい農林水産物や、日本と海外をつなぐ成田空港や対岸の神奈川県や東京都とつなぐ東京湾アクアラインなどの交通インフラ、素材・エネルギー産業の国内最大の拠点である京葉臨海コンビナート、幕張メッセなどの大規模集客施設など様々な宝に恵まれています。



写真提供：千葉県立中央博物館

吉祥の絵柄や大漁の様子が描かれた
漁師の祝まいわいい着「万祝」



全国トップクラスの水揚げ量を誇る
「キンメダイ」

(2) 千葉県の水産業

千葉県は、三方を海に囲まれ、半島性が生んだ豊かな自然環境の下、地域ごとに特性の異なる多種多様な漁業が営まれています。

東京湾内湾地域は、全国有数の浅海漁場であり、底びき網や潜水器などによりスズキやコノシロ、カレイ類、アサリなどが漁獲されるほか、ノリ養殖業が営まれており、「江戸前」として高く評価されています。

内房地域は、内湾水と外海水の混合域であり、定置網や刺し網などにより、アジやヒラメ、タチウオなどの多様な魚種が漁獲されるほか、潮通しが良く静穏な海域特性のためマダイなどの養殖業も行われています。

外房地域は、海岸線の変化に富んだ岩礁域が広がり、刺し網や一本釣りなどにより、イセエビやキンメダイなどが漁獲されるほか、あま漁業によりアワビやサザエなどが漁獲されています。

銚子・九十九里地域は、黒潮と親潮が交わる日本有数の好漁場を有し、海岸線には長大な砂浜域が広がっており、まき網や貝けた網などにより、イワシやサバ、ハマグリなどが漁獲され、特に銚子漁港は全国屈指の水揚量を誇ります。

内水面では、コイやシラスウナギなどを対象とした漁業のほか、ウナギやホンモロコなどの養殖業が営まれています。

このように豊かな自然環境の下、地域の特性に応じて多種多様な水産物が豊富に漁獲・生産されており、特にスズキ類、コノシロ、タチウオ、イセエビ、キンメダイなどについては、全国トップクラスの水揚量となっています。

また、数多くの県産水産物の中でも、全国に誇る優れたものを「千葉ブランド水産物」として県が認定し、積極的に全国に向けて紹介していくことで千葉県の水産物の更なるイメージアップを図っています。これらの水産物は、豊洲市場などを経由して全国に供給されるほか、水産加工品の原料や観光客へのおもてなしなどに利用されており、本県水産業は地域の経済・社会・食文化を支える産業として重要な役割を担っています。

(3) 大会開催の意義

千葉県では、平成4年に勝浦市で「第12回全国豊かな海づくり大会」を開催したことで、つくり育てる漁業の機運が醸成され、その後の漁業生産を維持するための種苗生産体制が整備される契機となりました。一方、近年の漁場環境の変化や漁獲量の減少など、水産業を取り巻く状況は大変厳しくなっています。

このような中、水産資源の維持増大に向け、効果的かつ現場に適した資源管理に取り組むとともに、放流用種苗の質の向上や生産の安定化を図るため、種苗生産施設の再編整備を行っています。また、地球温暖化に伴う海水温の上昇などといった漁場環境の変化に対応するため、近年本県で水揚げが増加しているトラフグの種苗放流技術や食害に強いノリの新品種の開発に取り組んでいます。さらには、漁業生産性の向上に資するブルーカーボン創出の取組や、カーボンニュートラル実現に向けて導入される洋上風力発電と漁業との協調・共生の取組、漁港を活用した直売所やダイビング施設の運営などの海業の取組を推進しています。

「全国豊かな海づくり大会」を再び千葉県で開催することは、豊かな海や河川・湖沼などがもたらす恵みを次世代に引き継ぐため、つくり育てる漁業やブルーカーボンの創出など、官民一体となった取組を推進する絶好の機会となります。また、大会や関連イベントを通じて、本県の豊かな海や河川などといった自然環境の保全に対する県民の意識向上に繋がります。さらに、豊かな海に関する文化芸術・スポーツ・観光など多様な資源・魅力を漁業と結びつけ、海業として推進する取組を県内外に広く発信することで本県のブランド価値を向上させ、水産業を核とした地域経済の活性化を図るとともに、多くの人が本県に集う機会となります。

3 基本理念

千葉県の豊かな海や河川などがもたらす恵みを次世代に引き継ぐため、水産資源の保護・管理や環境保全の重要性を県内外に広く訴えるとともに、海に関する文化芸術・スポーツ・観光などの「千波県」の多様な魅力を発信することで本県のブランド価値を向上させ、水産業の振興と地域の活性化を図ります。

※外房・内房など地域ごとに異なる表情をもった千葉県の海には、さまざまな種類の海が存在しています。そこで「千の波を有する県」を意味する「千波県」と名付け、千葉の海の多様な魅力を表現しています。

4 基本方針

(1) 水産業の振興と海のにぎわい創出

三方を海に囲まれ豊かな漁場を有し、多種多様な漁業が営まれている本県において、将来にわたって持続的に漁業を営めるよう、水産資源の保護・管理やつくり育てる漁業に加え、県産水産物の消費拡大や漁港を活用した海業の取組などを推進することにより、水産業を振興し、海のにぎわいを創出することで地域の活性化を図る大会とします。

(2) 豊かな自然環境の保全と次世代への継承

海水温の上昇によるノリ養殖に適した期間の短縮や藻場が消失する磯焼けなど、漁場環境の変化に適応するため、漁業生産性の向上に資するブルーカーボン創出の取組などを推進します。

また、首都圏にありながら、半島性が生んだ豊かな自然環境を保全するとともに、海洋プラスチックごみなどの環境問題に取り組むことの重要性について県民に広く訴えかけることで、豊かな海や河川などがもたらす恵みを次世代に引き継いでいく大会とします。

(3) 千波県の魅力発信とブランド価値向上

豊かな海がもたらす食文化、万祝・大漁旗といった文化芸術、スポーツや観光などの「千波県」の多様な魅力を県内外に広く発信することで、本県のブランド価値を高め、多くの人が千葉県に集う大会とします。

Ⅱ 大会計画

1 全体計画

(1) 計画概要

■ 基本的な考え方

本県の特徴ある水産業の魅力と豊かな海づくりにつながる水産資源や自然環境を守り育てることの大切さを全国に発信する大会とします。

また、本県の豊かな自然、食、歴史や文化などを満喫できる多彩な催しを展開し、心のこもった“おもてなし”で、県内外からの来場者をお迎えします。

■ 行事構成

○式典行事

栽培漁業や資源管理、漁場・環境保全など豊かな海づくりに係る活動に功績のあった団体・個人の表彰、海や水産業などを題材とした最優秀作文の発表、漁業後継者等によるメッセージの発表や大会決議などを行います。

○海上歓迎・放流行事

豊かな海や河川などがもたらす恵みを次世代に引き継ぐ思いをこめて、本県の栽培漁業を代表する稚魚を放流するとともに、漁業関係者の協力を得て、漁船による海上歓迎パレードを行います。

○歓迎レセプション

大会関係者を招待して、千葉県が誇る多種多様な農林水産物を豊富に使った“おもてなし”をします。

○関連行事

大会を記念した絵画・習字コンクールの優秀作品の展示、本県の水産業や豊かな海の実現に向けた取組の紹介、県産農林水産物等の販売などを行い、県内外の参加者に「^{ちばけん}千波県」の多様な魅力を発信します。

(2) 会場配置

■ 基本的な考え方

県東部地域のコンパクトなエリア内に、「式典行事会場」と「海上歓迎・放流行事会場」の両会場を配置します。レセプション会場については、両会場とのアクセスなども踏まえ、関係機関と協議の上、決定いたします。

また、関連行事会場については、式典行事等と合わせて盛り上がるよう、開催市等に配置します。

○ 式典行事：千葉県東総文化会館（旭市）

東総地域の中核都市である旭市の中心地に位置し、文化振興の拠点として、外観からも建物の構成が分かる「鎮守の杜」のような存在を目指して設計された県立文化会館です。交通アクセスが良好であるとともに、多目的に利用できる2つのホールや複数の控室、駐車場の規模など、充実した施設を備えています。これらの立地条件や施設の特長を最大限に活かすことで、本県水産業の魅力をはじめ豊かな海を全国に効果的に発信できる式典とします。

○ 海上歓迎・放流行事：銚子漁港（銚子市）

本県東端の銚子市の利根川河口右岸に位置し、水郷筑波国定公園の指定区域内にある県営漁港です。漁船パレードを行うための十分な水域と水深の確保が可能であるとともに、稚魚の放流を安全に行うための放流台を設置する十分なスペースの確保が可能です。これらの立地条件を最大限に活かすことで、つくり育てる漁業への理解促進をはじめ本県の有する豊かな海を全国に効果的に発信できる海上歓迎・放流行事とします。

○ 歓迎レセプション：検討中

円滑に御懇談ができることを最優先に、本県の豊かな食材の提供や千葉県らしい心のこもった“おもてなし”ができる会場づくりを行います。

○ 関連行事：開催市ほか

絵画・習字コンクールの優秀作品の展示、本県の水産業や豊かな海づくり活動に関する企画展示、ステージイベント、ふれあい体験コーナー、物産販売、飲食エリアなどで構成し、千葉の水産業をはじめとした魅力を発信するとともに、参加者の豊かな海づくりへの意識向上を図ることができる会場づくりを行います。

■ 会場配置図



(3) 行事計画

■ 基本的な考え方

- ・ 各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動がスムーズに行えるよう、安全面、機能面を十分に考慮した計画とします。
- ・ 式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置を活用し、映像中継等を行います。

■ 行事構成

会場		式典行事 (千葉県東総文化会館)	海上歓迎・ 放流行事 (銚子漁港)	関連行事 (開催市ほか)	作品御覧・ 歓迎レセプション (検討中)
11 月 13 日 (土)	9:30	総合リハーサル	総合リハーサル	関連行事 ・ 企画展示 ・ ステージイベント ・ 体験コーナー ・ 物産販売 等	絵画・習字 優秀作品御覧 歓迎レセプション
	17:00				
11 月 14 日 (日)	9:30	開場 プロローグ		関連行事 式典行事中継	
	12:00	式典行事			海上歓迎・ 放流行事中継
	15:00		海上歓迎・ 放流行事	関連行事 ・ 企画展示 ・ ステージイベント ・ 体験コーナー ・ 物産販売 等	
	17:00				

※内容は先催県の例を参考に記載したものであり、関係機関等と協議の上、調整・決定します。

2 式典行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

本県水産業の魅力や自然環境の保全の大切さを全国に発信できるよう、千葉県東総文化会館の施設、空間、設備を最大限活用した会場配置を行います。

■ 主要会場配置図

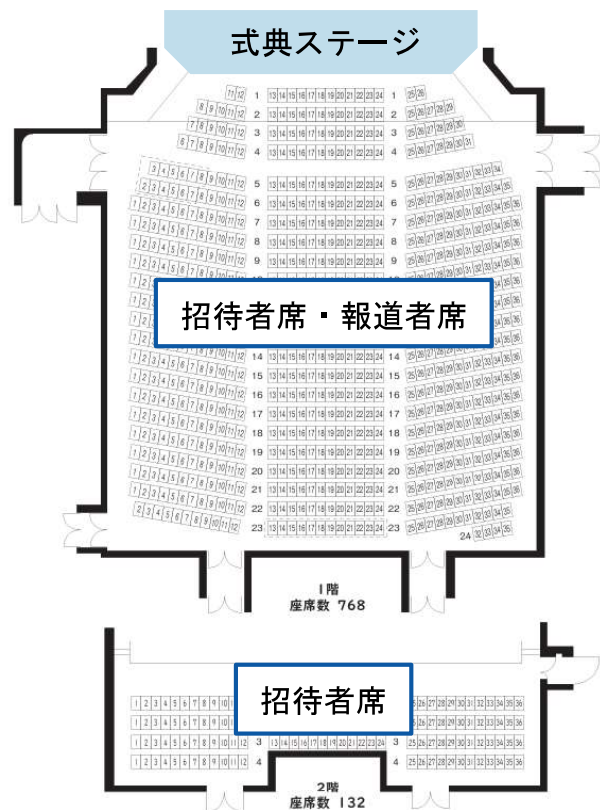
大ホール



ステージ



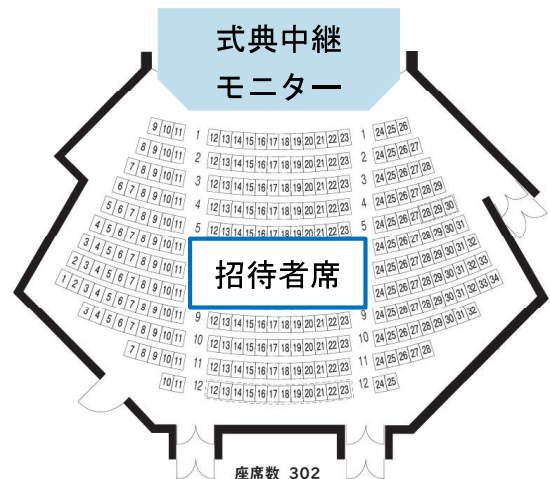
招待者席・報道者席



小ホール



招待者席



(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

厳粛で品位のある進行を基本として、本県の特色ある水産業の取組や豊かな海の重要性を全国に発信できる内容とします。

■ 日 時 令和9年11月14日（日曜日）

■ 場 所 千葉県東総文化会館（旭市）

■ 演出計画

進行	内容・出演者等
プロローグ	千葉県紹介映像、伝統芸能 等
御臨席	御先導：千葉県知事
大会旗入場	旗手：検討中 [先催県：県内高等学校生徒 等] 先導：検討中 [先催県：地元園児による鼓笛隊 等]
開会のことば	千葉県漁業協同組合連合会代表理事会長
国歌斉唱	検討中 [先催県：地元オーケストラ 等]
主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長） 千葉県実行委員会会長（千葉県知事）
歓迎のことば	開催市長 [先催県：式典開催市長]
おことば	
表彰（功績団体等）	全国豊かな海づくり大会会長賞、農林水産大臣賞、 環境大臣賞、水産庁長官賞、千葉県知事賞
最優秀作文の発表	全国豊かな海づくり大会会長賞の受賞者代表
稚魚等のお手渡し	お受取：水産関係者等 介添え：検討中 [先催県：県内高等学校生徒 等]
海づくりメッセージ	漁業後継者等によるメッセージ
大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長 （全国漁業協同組合連合会代表理事会長）
大会旗引継	千葉県知事から福井県知事（次期開催地）へ引継
次期開催県あいさつ	福井県知事
閉会のことば	千葉県議会議長
御退席	御先導：千葉県知事
エピローグ	豊かな海への想いを音楽やパフォーマンスで表現

※内容は先催県の例を参考に記載したものであり、関係機関等と協議の上、調整・決定します。

3 海上歓迎・放流行事

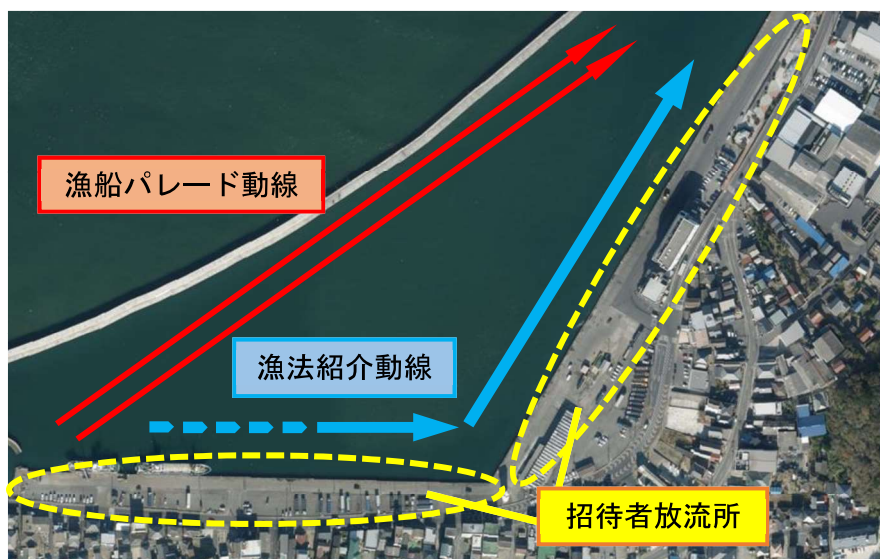
(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

全国屈指の水揚げ量を誇る一大漁業基地である銚子漁港において、つくり育てる漁業への理解促進を図るとともに、本県の有する豊かな海を実感できる会場配置を行います。

なお、御放流所は、御放流の様子が招待者及び報道関係者から見やすいように設置します。

【海上歓迎・放流行事会場イメージ】



■ 御放流所

御放流所は可能な限り県産木材を用いることとし、森と海の繋がりを全国に発信できる大会とします。



第43回大分県大会にて
稚魚を御放流される天皇皇后両陛下



第43回大分県大会の御放流所

写真提供：大分県

(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

漁船団によるパレードと本県の代表的な漁法の紹介等で招待者を歓迎します。また、豊かな海や河川などがもたらす恵みを次世代に引き継ぐ思いをこめて稚魚の放流を行います。

■ 日 時 令和9年11月14日（日曜日）

■ 場 所 銚子漁港（銚子市）

■ 演出計画

進行	内容・出演者等
歓迎演奏	検討中 [先催県：吹奏楽・和太鼓等]
進行概要説明	司会者
会場御着～御放流所へ御移動	御先導：千葉県知事
海上歓迎	漁船等による海上パレードと漁法紹介
第1回放流	介添え：検討中 [先催県：県内高等学校生徒 等]
第2回放流	介添え：検討中 [先催県：県内高等学校生徒 等]
御放流所から御移動～会場御発	御先導：千葉県知事



※内容は先催県の例を参考に記載したものであり、関係機関等と協議の上、調整・決定します。




第12回千葉県大会の海上歓迎・放流行事

4 御放流魚種・お手渡し魚種

(1) 御放流魚種

<p>【マダイ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸に近い岩盤や砂礫域に広く生息し、底びき網、刺し網、まき網などで漁獲される。 ・年間100万尾ほどが放流され、資源管理のため小型魚の再放流などが実施されている。 ・本県にゆかりが深く、明るいイメージを持ち本県の発展を象徴するにふさわしい魚として、県の魚（タイ）に指定されている。
<p>【ヒラメ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・内房から外房、銚子に至る沿岸の砂浜域に広く生息し、刺し網、底びき網、釣りなどで漁獲される。 ・年間100万尾ほどが放流され、資源管理のため小型魚の再放流や漁具設置時間の制限などが実施されている。

(2) お手渡し魚種（式典行事会場で手渡され後日放流）

<p>【トラフグ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の変化に伴い、漁獲量は増加傾向にあり、はえ縄、定置網、底びき網などで漁獲される。 ・令和4年度には栽培漁業の新規対象種となり、県水産総合研究センターの再編整備に合わせ、トラフグの種苗生産施設を新設中。
<p>【クロアワビ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸の岩礁域に生息し、主に外房地域で素潜りにより漁獲される。 ・磯根漁業の最重要魚種で、放流効果を高めるため、複数の漁場で放流と漁獲を3～4年サイクルで行う輪採の取組が進められている。
<p>【ハマグリ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾の浅瀬に生息し、主に貝まきで漁獲される。 ・本県にゆかりが深い二枚貝で、食用の歴史は古く、縄文時代の貝塚から殻が出土している。 ・近縁種のチョウセンハマグリは、九十九里浜が全国有数の産地となっている。
<p>【クロノリ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸前」の一つで、全国的にも「色よし、味よし、香りよし」として評価が高い。 ・千葉県の水産物生産額第6位（令和5年）に位置する重要な海面養殖種である。

5 歓迎レセプション

■ 内容

大会前夜に歓迎レセプションを開催し、千葉の海で獲れた魚介類をはじめとする本県の農林水産物を豊富に使用した自慢の「食」でおもてなしをします。

進行	内容・出演者等
御着	御先導：千葉県知事
開宴のことば	千葉県漁業協同組合連合会代表理事会長
主催者あいさつ	千葉県知事
歓迎のことば	開催地代表市長
乾杯	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）
御懇談	
御退席	御先導：千葉県知事
歓談	
終宴のことば	千葉県議会議長

※内容は先催県の例を参考に記載したものであり、関係機関等と協議の上、調整・決定します。



第39回秋田県大会の歓迎レセプションの様子

写真提供：秋田県

6 関連行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

大会を盛り上げるため、開催市等と連携し、水産関連イベントを開催します(大会開催の2日間)。ステージイベントや物産販売等を通じて、本県の多彩な魅力を発信します。また、大型モニターを活用し、式典行事や海上歓迎・放流行事の映像を配信することで、一体感を醸成できる運営を行います。

関連行事の開催にあたっては、県内における取組を効果的に発信できるよう、農林水産まつりなどのイベントとの連携を図っていきます。

(2) 行事計画

■ 企画展示エリア

本県水産業の特色や漁法の紹介、放流魚種の展示、作文・絵画・習字コンクールの出展作品、自然環境の保全に向けた取組の企画展示などを行うことにより、豊かな海を守り育て、将来に引き継いでいく大切さを広く発信する構成とします。

■ ステージイベントエリア

式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継により各行事との一体感を醸成するとともに、伝統芸能や著名人によるトークショー等の特色あるアトラクションを展開することで、多くの方々に楽しんでいただける構成とします。

■ ふれあい体験エリア

海の生き物と触れ合えるコーナー等の様々な体験を通じて、多くの来場者が豊かな海づくりの大切さを楽しみながら学ぶ構成とします。

■ 物産販売エリア

県産農林水産物等を広く販売し、本県の多種多様な食文化や食材の魅力を発信するとともに楽しめる構成とします。



第43回大分県大会の関連行事の様子

写真提供：大分県

7 その他の行事

≪絵画・習字優秀作品御覧≫

■ 内容

全国豊かな海づくり大会を記念して、県内の児童・生徒を対象に絵画・習字コンクールを実施し、優秀作品を御覧いただきます。

進行	内容・出演者等
御着	御先導：千葉県知事
絵画・習字優秀作品御覧	御説明：千葉県教育長 受賞者：千葉県知事賞（絵画部門・習字部門）
御発	御先導：千葉県知事

※内容は先催県の例を参考に記載したものであり、関係機関等と協議の上、調整・決定します。



第43回大分県大会の絵画優秀作品御覧の様子

写真提供：大分県

8 大会運営計画

■ 基本的な考え方

- ・全ての来場者の安全を確保するとともに、心のこもった“おもてなし”を提供します。
- ・大会を円滑に推進するため、実行委員会に所属する組織だけでなく、様々な関係機関、関係団体と連携します。
- ・障がい者や高齢者等に十分配慮した大会運営を行います。
- ・イベント等の開催にあたっては、環境への負荷を可能な限り低減できる手法を検討します。

■ 緊急時対応

- ・警察、海上保安庁、消防、医療機関等の関係機関、関係団体との連携を密にし、事故防止や非常時の迅速な対応に努めます。
- ・沿海部を主体として開催する大会となるため、悪天候や地震などの災害への対応として、情報収集と避難誘導や大会行事の実施等の判断を迅速かつ的確に行える体制づくりを行います。

9 荒天時等計画

■ 基本的な考え方

台風による荒天時や地震、津波等の災害、火災、その他の突発的事案が発生した場合には、大会行事の開催可否を決定するため、判定会議を開催します。判定会議は、気象状況や災害、突発的事案の情報収集、整理を行い、専門家の意見を踏まえた上で、実施の可否を判断することとします。

なお、大会行事の実施、変更、中止の判断基準は、実施計画で詳細を定めます。

■ 荒天時等の実施内容

判定会議において、荒天や災害、その他の突発的事案により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画（A）に変更し、行事を実施します。

さらに、放流行事の実施も困難であると判断した場合には、荒天時計画（B）に変更し、式典行事を実施します。

なお、台風や地震、津波等により、招待者や関係者の会場への移動に危険が伴うと判断した場合には、全ての行事を中止します。

行事名	荒天時計画（A）	荒天時計画（B）
式典行事	計画どおり実施	計画どおり実施
海上歓迎行事	中止	中止
放流行事	計画どおり実施	中止

Ⅲ 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取組

■ 基本的な考え方

大会開催に向け、1年前プレイベントをはじめとする行事の開催を通じて、全県的な機運醸成を図るとともに、大会の基本方針を達成できるよう、戦略的な情報発信に取り組みます。

■ 機運醸成の取組

① 水産業の振興と海のにぎわいの創出

・ 大会記念リレー放流

県内各地の海面及び内水面において、児童などと稚魚の放流を実施するとともに、子ども達が楽しく学べる水産教室などを実施することにより、豊かな海づくりに対する理解促進を図ります。

《期間》 令和7年11月～令和9年10月頃 《会場》 県内全域

・ 千葉ブランド水産物のPR

数多くの県産水産物の中でも、全国に誇る優れたものを「千葉ブランド水産物」として県が認定し、積極的に全国に向けて紹介していくことで、県産水産物の更なるイメージアップを図ります。

《期間》 通年 《会場》 県内全域

・ 魚食普及・食育の推進

県産水産物や水産業に対する理解醸成を図るため、魚の料理教室や学校給食などを通じて、子どもたちが県産水産物に親しむ機会を設け、魚食普及や食育の取組を推進します。

《期間》 通年 《会場》 県内全域

・ 海業による地域活性化

四季折々の新鮮な水産物、豊かな自然環境や漁村の景観、親水性レクリエーションの機会等の地域資源の価値や魅力を活用する海業の取組を推進することにより、漁村のにぎわい創出や、所得向上と雇用機会の確保を図ります。

《期間》 通年 《会場》 県内全域

② 豊かな自然環境の保全と次世代への継承

・ブルーカーボンの創出に関する取組推進

漁業生産性の向上に資するブルーカーボン創出の取組を推進するため、漁業関係者や民間企業等を対象とした研修会などの開催により、他県の先進事例や県の取組事例等の周知・啓発を行うことで、多様な関係者の参画・連携を図り取組を拡大していきます。

《期間》 通年

《会場》 県内全域

・海洋プラスチックなどのごみ問題の周知・啓発

海洋プラスチックなどのごみ問題への関心・意識を高めるための周知・啓発活動を実施するとともに、市町村及び漁業団体、企業等と連携（賛助行事など）し、海浜清掃活動などを実施します。

《期間》 通年

《会場》 県内各地

③ ^{ちばけん}千葉県の魅力発信とブランド価値向上

・千葉の海の魅力発信イベント

千葉県の宝である千葉の海の魅力を県内外に広く発信し、「^{ちばけん}千葉県」のブランド化を図ることを目的としたイベントを県内・都内で開催します。

《期間》 通年

《会場》 県内・都内

・県立博物館での展覧会開催

千葉県の豊かな海の自然や、その恵みで培われてきた千葉県の食文化・漁業文化等、千葉県の海の魅力を伝える展覧会を開催します。また、千葉の海の「おもしろい」を肌で感じてもらう講座や見学会を開催します。

《期間》 通年

《会場》 県立中央博物館等

・海などを活用した魅力的な観光地づくり

海をはじめとする豊かな観光資源を生かした観光地の魅力向上を進めるとともに、本県の有するこれらの美しい景観や新鮮な海の幸等を戦略的にアピールし、本県への来訪と消費の増加を図っていきます。

《期間》 通年

《会場》 県内各地

④ 大会の基本方針（①～③）を包括的に啓発していく取組

・ 1年前プレイベント

『第46回全国豊かな海づくり大会～ふさの国 千波^{ちば}県大会～』の1年前に、開催趣旨の周知と大会の開催に向けた機運の醸成を図るため、県内外の招待者や地元の方々の参加のもと、海上歓迎・放流行事会場となる銚子漁港において、1年前プレイベントを開催します。

なお、本イベントでは、漁船による海上パレードや関係者による稚魚の放流を実施するなど、本大会を検証する機会とします。また、地元のイベントと連携し、子どもから大人まで楽しめる関連行事も行います。

《日 時》 令和8年11月1日（日）

《場 所》 銚子漁港

《内 容》 ・ 式典

・ 漁船等による海上歓迎パレード

・ 稚魚等の放流

・ 企画展示、ステージイベントなど

・ 豊かな海づくりキャラバン

海や魚、自然環境に関連したイベントや集客力の高いイベントと連携し、機運醸成を図ることを目的としたPR活動を県内全域で展開するとともに、大会当年度はカウントダウンイベントとしても展開します。

《期間》 通年

《会場》 県内全域

⑤ 協賛行事

・ 海づくり大会協賛行事の募集

大会の周知や県全体での機運醸成を目的に、農林水産まつりや海浜清掃活動などを幅広く協賛行事として募集するとともに、大会の成功に向けて、基本理念に賛同していただける企業等から協賛金（物品を含む）を受け入れます。

《期間》 通年

《会場》 県内全域

⑥ その他

・ 作文・絵画・習字コンクールの開催

県内の児童・生徒を対象に、絵画・習字のコンクールを実施するとともに、豊かな海づくり大会推進委員会との共催で作文コンクールを行います。

《期間》 令和9年

《会場》 県内全域

・ 「第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭なになの海おおさか大会～」への参加

大阪府で開催される「第45回全国豊かな海づくり大会」に参加し、大会招待者などに次期開催の周知を図るとともに、豊富な水産物をはじめ本県の魅力をPRします。

《期間》 令和8年11月14日・15日

《会場》 大阪府

2 情報発信の取組

■ 基本的な考え方

大会テーマ、大会キャラクター等を活用しながら、大会関連情報について各種媒体を通じて、積極的かつ効果的な広報活動を展開します。

■ 広報事業

① 大会テーマ、大会キャラクター等による広報

公募により決定した大会テーマの普及を図るとともに、大会コスチュームを羽織った大会キャラクター「チーバくん」や大会ロゴマークを活用して、PR活動を展開します。

- ・大会テーマ、大会キャラクター等を活用した大会PRグッズの作成・配布
- ・大会キャラクターによる各種イベント等でのPR など

② 印刷物による広報

各種印刷物や広報紙（誌）等を活用した広報活動を展開します。

- ・大会公式ポスターやリーフレットの作成、配布
- ・県・市町村等の広報紙（誌）の活用 など

③ 多様なメディアによる広報

報道関係への情報提供やインターネット等の多様なメディアを活用し、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信します。

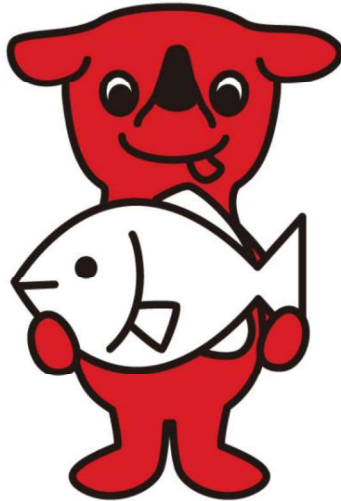
- ・新聞、テレビ、ラジオ等の活用
- ・大会ホームページ、各種SNS等での情報発信

④ 屋外広告物等による広報

懸垂幕や横断幕、カウントダウンボード等を設置により、大会を広域的に発信します。

IV 実施スケジュール

年度	月	会議・実施本部設置等	機運醸成・情報発信		
令和7年度	1		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">機運醸成事業の実施（イベントでのPR・主催又は協賛行事等）</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大会記念リレー放流の実施</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ホームページ・SNS・ポスター等によるPR</div> </div>		
	2				
	3	実行委員会（基本計画決定）			
令和8年度	4	実施計画の検討		大会テーマ等の募集・審査	
	5			大会テーマ等の決定	
	6			実行委員会	県民の日イベントでPR
	7				
	8				
	9				
	10				1年前プレイベント
	11				大阪大会でPR
	12				
	1				
	2				
3	実行委員会（実施計画決定）	大会公式ポスター作成			
令和9年度	4	大会実施本部の設置	大会記念作品募集開始（作文・絵画・習字）		
	5		運営マニュアル作成等	100日前イベント	
	6				
	7				
	8			1ヶ月前総合リハーサル	
	9			前日総合リハーサル	
	10			第46回全国豊かな海づくり大会 ～ふさの国 <small>ちばけん</small> 千波県大会～	
	11				
	12				
	1				
2					
3	実行委員会（解散総会）	大会実績報告書作成			



【大会キャラクター】
千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

第46回全国豊かな海づくり大会千葉県実行委員会事務局
(千葉県農林水産部水産局水産課全国豊かな海づくり大会推進室)

〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1番1号

TEL 043-223-4506

FAX 043-222-1981

「大会テーマ」及び「大会専用コスチュームデザイン」
入賞作品の選定について

1. 募集・審査概要

(1) 募集目的

令和9年秋季に千葉県で開催する「第46回全国豊かな海づくり大会
～ふさの国 千葉^{ちば}県大会～」を県内外へ広く周知し、開催機運を高めるため。

(2) 募集期間

令和7年10月23日（木）から令和8年1月16日（金）まで

(3) 応募状況

大会テーマ 1, 913点（うち県内630点）

大会専用コスチュームデザイン 1, 016点（うち県内992点）

(4) 審査委員会（令和8年2月27日審査会開催）

大会テーマ

所属	役職名	氏名
千葉県高等学校教育研究会国語部会 （千葉県立千葉南高等学校）	会長 （校長）	和田 潤子
千葉県漁業協同組合連合会	専務理事	高梨 義宏
千葉県農林水産部販売輸出戦略課	ブランディング アドバイザー	品川 結貴
千葉県総合企画部報道広報課	課長	高森 茂人
千葉県農林水産部水産局水産課	課長	宮嶋 義行

大会専用コスチュームデザイン

所属	役職名	氏名
千葉県高等学校教育研究会美術部会 （千葉県立松尾高等学校）	会長 （校長）	伊藤 学史
千葉県漁業協同組合連合会	専務理事	高梨 義宏
千葉大学デザイン文化計画研究室	教授	植田 憲
千葉県総合企画部報道広報課	課長	高森 茂人
千葉県農林水産部水産局水産課	課長	宮嶋 義行

(5) 表彰区分

最優秀賞（各1点）：賞状、副賞3万円
 優秀賞（各3点）：賞状、副賞1万円
 佳作（各5点）：賞状、副賞5千円
 } +千葉県ブランド水産物5千円相当

2. 審査結果

(1) 最優秀賞 (案)

大会テーマ

「つくろうよ 命が謳う 明日の海」	
審査員講評	応募者
<p>未来の海を皆で力を合わせてつくっていかうという明確なメッセージが感じられ、大会テーマとしてふさわしい。「つくる」が大会名の「海づくり」と響きあい、つくり育てる漁業のイメージにも繋がる。呼びかける形で始めることで、誰もが海を守り未来へ継承していく当事者であることを意識させる効果をあげている。「命が謳う」で、多くの生命が溢れる豊かで美しい海をうまく表現している。</p>	<p>埼玉県 60代 酒井 淳市</p>

大会専用コスチュームデザイン


	
審査員講評	応募者
<p>海の中から太陽を見上げているイメージの構図は、唯一無二で斬新。色彩もあえて青色のグラデーションのみを使用し、チーバくんの赤色と補色対比になるような効果的な配色。千葉県の豊かな海の水産物は、白色の輪郭線のみで描かれ、全体的にシンプルに仕上がっているが、見る側に強い印象を与える。</p>	<p>栃木県 30代 齋藤 航</p>

(2) 優秀賞 (案)

大会テーマ 3点

「描こうよ 豊かな海の 未来地図」	
審査員講評	応募者
大会の基本方針に一致した内容である。「地図」という想像しやすい言葉を使って呼びかけていることで、みんなで未来の海を描いていこうというイメージが伝わってくる。	山梨県 60代 鈴木 健之
「とどけよう 輝く海を 未来へと」	
審査員講評	応募者
素直な表現で、誰にでもわかりやすく、幅広い年代にメッセージが伝わりやすい。豊かで美しい海を次の世代へ届けていきたいという意志が強く感じられる。	鎌ヶ谷市立第三中学校1年生 細川 紗良
「碧き海 未来へつなぐ 命の環」	
審査員講評	応募者
「命の環」という表現が良い。多くの生物の生命の循環が未来へ続いていくことを感じさせる。海の資源を有効に活用していくというイメージも持てる。「碧き海」で始まるのも印象的である。	宮崎県 40代 三輪 優子

大会専用コスチュームデザイン 3点

					
審査員 講評	千葉県で獲れる代表的な魚介類を躍動的に配置し、大漁旗のような力強い印象は見る側に強いインパクトを与える。太陽の暖色と海の寒色の対比も効果的で、さりげなく落花生が紛れている遊び心もユニーク。	審査員 講評	シュールにデフォルメされた魚群で表現したデザインは、何か不思議で壮大なものを感じさせ、高校生の発想力に驚嘆。多様な生物を育む海の豊かさや生命力など、見る側のイメージーションをかき立てるアート作品。	審査員 講評	法被の背面に描かれたデザインに、小学生のユニークで自由な発想が象徴されている。千葉県の豊かな水産物を効果的に配置するなど、考えぬかれた完成度の高い作品に仕上がっている。
応募者	千葉県 20代 南 咲希	応募者	県立東金高等学校 2年生 松山 美喜	応募者	旭市立滝郷小学校 6年生 木内 那波

(3) 佳作 (案)

大会テーマ 5点

「豊かなる 命育む 青い海」	応募者
	宮崎県 40代 小島 慶祐
「夢託す 豊かな海が 育む未来」	応募者
	神奈川県 40代 坪井 敦憲
「はぐくもう 命の鼓動が 満ちる海」	応募者
	愛知県 20代 渡辺 凜
「守り継ぐ 宝の海の きらめきを」	応募者
	市川市 50代 加藤 邦夫
「生命の 源つくる 青い海」	応募者
	北海道 60代 阿部 武仁

大会専用コスチュームデザイン 5点

					
応募者	大阪府 60代 中井 洋子	応募者	山梨県 40代 波田 峰	応募者	市原市立石塚小学校 6年生 佐々木 愛
					
応募者	県立佐原白楊高等学校 3年生 堤 麻祐	応募者	県立東金高等学校 2年生 簾尾 彩乃		

海上歓迎行事（漁法紹介・漁船パレード）について

1 海上歓迎行事（漁法紹介・漁船パレード）とは

- ・海上歓迎行事とは、海上歓迎・放流行事会場において、開催県の代表的な漁法の紹介や漁船団によるパレードを実施し、天皇皇后両陛下並びに招待者を歓迎するもの。
- ・漁法紹介とは、漁業種類の異なる10隻程度の漁船や官公庁船が、司会者のアナウンスや音楽に合わせ、等間隔で1隻ずつ招待者の前を航行するもの。
- ・漁船パレードとは、漁法紹介に併せ、30～100隻程度の漁船団によるパレードを実施するもの。

2 本県における海上歓迎行事の考え方

- ・千葉県の代表的な漁業種類から10隻程度の漁船や官公庁船を選定し、漁法紹介を行うとともに、約40隻の漁船団によるパレードを実施することで、招待者に千葉県の漁業の力強さを体感いただく。
- ・参加漁船の選定に当たっては、各地域の漁業実態に精通する千葉県漁業協同組合連合会や銚子市漁協等と調整の上、決定する。
- ・漁法紹介や漁船パレードの経路など具体的な内容については、海上保安部及び委託事業者との協議・調整や1年前プレイベントでの検証等を踏まえて決定し、実施計画に記載する。



第43回大分県大会の海上歓迎行事の様子（写真提供：大分県）

【参考】先催県における海上歓迎行事の内容

大会	開催年	開催県	漁法紹介			備考 (漁船パレード等)
			隻数	漁船(漁業種類)	官公庁船	
第12回	H4	千葉県	海上歓迎行事として、「カッターパレード」、「手旗信号」、「裸神輿」、「漁船パレード(勝浦市内8漁協 計100隻)」を予定していたが、台風の影響を受け、「裸神輿」のみ実施			
第36回	H28	山形県	9	底びき網(2隻)、定置網、ごち網、はえ縄(3隻)、刺網	県監視調査船	※漁船パレードなし (漁船披露 計29隻)
第37回	H29	福岡県	9	ごち網、いか釣り、刺網、はえ縄、海土、底びき網、まき網(探索船・運搬船)	県調査取締船	100隻の漁船団でパレードを予定
----- 台風の影響で中止						
第38回	H30	高知県	7	沿岸一本釣り、底びき網、もじゃこまき網、船びき網、かつお一本釣り	県調査船 県取締船	※漁船パレードなし
第39回	R元	秋田県	7	底びき網、定置網、刺網、はえ縄	県調査船 県取締船 県実習船	※漁船パレードなし
第40回	R3	宮城県	9	のり養殖、かき養殖、刺網、敷網、底びき網(小底1隻、沖底2隻)	県調査船 県取締船	※漁船パレードなし (両陛下はオンラインで御臨席)
第41回	R4	兵庫県	10	船びき網(3隻)、のり養殖、底びき網、ごち網、たこつぼ、一本釣り	県調査船 県取締船	91隻の漁船団でパレードを実施
第42回	R5	北海道	10	あさり養殖、かき養殖、こんぶ(2隻)、ししゃもこぎ網、いか釣り、漁協所有船(2隻)	道調査船 道取締船	※漁船パレードなし
第43回	R6	大分県	10	船びき網(3隻)、底びき網、一本釣り、刺網、ごち網、もじゃこ	県調査船 県取締船	41隻の漁船団でパレードを実施
第44回	R7	三重県	17	海女、刺網、ふぐはえ縄、定置網、まき網、かつお一本釣り、魚類養殖、真珠養殖	県調査船 海上保安部 巡視艇(先導)	※漁船パレードなし (漁船披露 計46隻)

※第45回大阪府大会は、約100隻の漁船団でパレードを実施予定

御放流魚」及び「お手渡し魚」の選定について

1 御放流魚とは

- ・「御放流魚」とは、海上歓迎・放流行事会場において、天皇皇后両陛下自ら御放流される稚魚等であり、種苗の生産が行われている魚種等が選定されている。
- ・近年の大会では、陸上に設置した御放流所の樋へバケツで流し入れて御放流されており、御放流に合わせ、招待者も同じ魚種を放流している。

2 お手渡し魚とは

- ・「お手渡し魚」とは、式典行事会場において、両陛下からお手渡しされ、後日、海上歓迎・放流行事会場とは別の場所で放流される稚魚等のこと。
- ・近年の大会では、式典行事会場のステージ上で専用容器等に入れた稚魚等を漁業関係者へお手渡しされることが多く、魚種は、その地域に生息する海水魚や淡水魚、甲殻類、藻類などから選定されている。



第43回大分県大会にて
稚魚を御放流される天皇皇后両陛下



第43回大分県大会の御放流所
(写真提供：大分県)

3 本県における御放流・お手渡し魚種選定の考え方

先催県の状況を参考に、選定基準として「必須事項」と「勘案すべき事項」を設定し、選定する。

(1) 必須事項

- ①本県の海面又は内水面に生息している在来種であること
- ②種苗の生産・放流技術が確立していること
- ③大会の開催時期に適切な大きさのものが確保できること

(2) 勘案すべき事項

- ①豊かな海づくりに向けた意識の高揚に繋がること
- ②本県の水産業振興に重要な魚種であること
- ③千葉県らしい魚種であること
- ④本県水産業の発展を歴史的に担ってきた魚種であること
- ⑤本県の栽培漁業対象種、又は資源管理型漁業の対象種であること
- ⑥その他、大会の基本理念及び基本方針に照らし適当であること

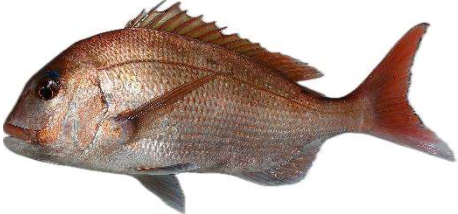

(3) 御放流・お手渡し魚の種類数

先催県の状況を参考に、種類数を以下のとおりとする。

- ①御放流魚：2種類
- ②お手渡し魚：4種類

4 「御放流魚」及び「お手渡し魚」の選定（案）

（1）御放流魚（案）

<p>【マダイ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸に近い岩盤や砂礫域に広く生息し、底びき網、刺し網、まき網などで漁獲される。 ・年間100万尾ほどが放流され、資源管理のため小型魚の再放流などが実施されている。 ・本県にゆかりが深く、明るいイメージを持ち本県の発展を象徴するにふさわしい魚として、県の魚（タイ）に指定されている。
<p>【ヒラメ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・内房から外房、銚子に至る沿岸の砂浜域に広く生息し、刺し網、底びき網、釣りなどで漁獲される。 ・年間100万尾ほどが放流され、資源管理のため小型魚の再放流や漁具設置時間の制限などが実施されている。

（2）お手渡し魚（案）

<p>【トラフグ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の変化に伴い、漁獲量は増加傾向にあり、はえ縄、定置網、底びき網などで漁獲される。 ・令和4年度には栽培漁業の新規対象種となり、県水産総合研究センターの再編整備に合わせ、トラフグの種苗生産施設を新設中。
<p>【クロアワビ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸の岩礁域に生息し、主に外房地域で素潜りにより漁獲される。 ・磯根漁業の最重要魚種で、放流効果を高めるため、複数の漁場で放流と漁獲を3～4年サイクルで行う輪採の取組が進められている。
<p>【ハマグリ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾の浅瀬に生息し、主に貝まきで漁獲される。 ・本県にゆかりが深い二枚貝で、食用の歴史は古く、縄文時代の貝塚から殻が出土している。 ・近縁種のチョウセンハマグリは、九十九里浜が全国有数の産地となっている。
<p>【クロノリ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸前」の一つで、全国的にも「色よし、味よし、香りよし」として評価が高い。 ・千葉県の水産物生産額第6位（令和5年）に位置する重要な海面養殖種である。

【参考】

1 本県の種苗生産対象種一覧

	マダイ	ヒラメ	トラフグ	アワビ	ハマグリ	クロノリ (カキ殻糸状体)	マコガレイ	クルマエビ	アユ
R6 生産実績	1,112 千尾	1,054 千尾	19 千尾	515 千個	800 千個	145,700 枚	430 千尾	6,510 千尾	111 千尾

資料：千葉県調べ

2 先催県における「御放流魚」及び「お手渡し

大会	開催年	開催県	御放流魚	お手渡し魚
第 12 回	H4	千葉県	マダイ、スズキ、クロダイ、ヒラメ、マコガレイ	アワビ
第 39 回	R 元	秋田県	マダイ、トラフグ	ハタハタ、サクラマス、エゾアワビ、ワカメ
第 40 回	R3	宮城県	ホシガレイ、ヒラメ	マガキ、ノリ、エゾアワビ、イワナ
第 41 回	R4	兵庫県	マダイ、ヒラメ	マダイ、キジハタ、ノリ、アユ
第 42 回	R5	北海道	マツカワ、ホッカイエビ	ホタテガイ、マガキ、エゾバフンウニ、マナマコ
第 43 回	R6	大分県	マコガレイ、マダイ	イサキ、キジハタ、カジメ、アサリ
第 44 回	R7	三重県	イセエビ、マダイ	マハタ、アマゴ、アコヤガイ、クロノリ・アオノリ
第 45 回	R8	大阪府	キジハタ、ヒラメ	キジハタ、アカガイ、ガザミ、アマモ

令和8年度 実行委員会事業計画（案）

1. 実行委員会運営事業：805千円

(1) 実行委員会総会

開催回数：2回

① 第3回総会

・令和7年度事業報告及び収支決算の審議 等

② 第4回総会

・実施計画等の策定

・令和9年度事業計画及び収支予算の審議 等

(2) 幹事会

開催回数：3回程度

① 第3回幹事会

・総会提出議案の事前審議（令和7年度事業報告及び収支決算の審議 等）

② 第4回幹事会

・大会1年前プレイベント概要報告 等

③ 第5回幹事会

・総会提出議案の事前審議

（実施計画等の策定、令和9年度事業計画及び収支予算の審議 等）

(3) 専門部会

必要に応じて、専門的な観点から審議を行うために専門部会を設置

2. 企画運営・広報事業：65,039千円

(1) 実施計画等の作成

大会を安全・円滑・確実に実施するため、大会運営及び式典行事をはじめとする各行事の企画等を具体化した大会実施計画や、招待者等に係る宿泊・輸送計画を策定するとともに、大会開催に向けた準備業務を実施します。

(2) 機運醸成に向けた取組

各事業を通じて県民に水産資源や環境保全の重要性を理解してもらうきっかけとするとともに、より多くの方が関わることのできる大会とします。

① 大会記念リレー放流の実施

稚魚等の放流を通じ、大会の周知と機運醸成及び県民の水産業・水産資源への理解を深めるため、小学生等による稚魚の放流を各地で実施します。

② 大会 1 年前プレイベントの開催

開催趣旨の周知と大会の開催に向けた機運の醸成を図るため、県内外の招待者や地元の方々の参加のもと、海上歓迎・放流行事会場となる銚子漁港において、大会 1 年前プレイベントを開催します。漁船による海上パレードや関係者による稚魚の放流を実施するなど、本大会を検証する機会とするほか、地元のイベントと連携して子どもから大人まで楽しめる関連行事も行います。

③ 豊かな海づくりキャラバンの実施

海や魚、自然環境に関連したイベントや集客力の高いイベントと連携し、機運醸成を図ることを目的とした PR 活動を県内全域で展開します。

④ 協賛の募集

大会の周知や県全体での機運醸成を目的に、農林水産まつりや海浜清掃活動などを幅広く協賛行事として募集するとともに、大会の成功に向けて、基本理念に賛同していただける企業等から協賛金（物品を含む）を受け入れます。

⑤ 作品コンクール開催準備

大会開催年度（令和 9 年度）に開催する県内の児童・生徒を対象とした作文・絵画・習字コンクールに向け、募集のためのポスターやチラシを作成するなど準備を進めます。

- ⑥ 「第 4 5 回全国豊かな海づくり大会～魚庭^{なにな}の海おおさか大会～」への参加
11 月 14 日、15 日に大阪府で開催される第 4 5 回大会に次期開催県として参加し、関連行事来場者への県農林水産物の配布やパネル展示等により次年度に開催する千葉県大会の認知度向上を図ります。

(3) 情報発信の取組

各種メディア・媒体への情報掲載やイベント等への出展により県内外への情報発信を行い、千葉県大会の認知度向上を図ります。

① 大会テーマ・大会キャラクターによる広報

公募により決定した大会テーマの普及を図るとともに、大会専用コスチュームを着用した千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」を大会キャラクターとして PR 活動を展開します。

- ・大会テーマ・大会キャラクターを活用した大会 PR グッズの作成・配布
- ・大会キャラクターによる各種イベントでの PR 等

② 大会専用ホームページの制作

大会行事やそれにまつわる各種イベント、豊かな海づくりに向けた取組等を発信するため、県民をはじめ多くの人々が情報を収集しやすいウェブサイトを構築します。

③ 多様なメディアによる広報

広報誌や新聞、ラジオ、テレビ、SNS等の各種広報媒体を活用し、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信します。

3. その他：431千円

消耗品の購入・資料の発送など、事務局の運営を行います。

令和8年度 収支予算（案）

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

1. 収入の部

（単位：千円）

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1. 負担金	57,365	10,000	47,365	千葉県からの負担金
2. 繰越金	8,910	0	8,910	前年度からの繰越金
3. 諸収入	0	0	0	
合計	66,275	10,000	56,275	

2. 支出の部

（単位：千円）

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1. 実行委員会 運営費	805	7,183	△6,378	・総会 ・幹事会 等
2. 企画運営・ 広報費	65,039	2,616	62,423	・実施計画等作成 ・リレー放流 ・1年前プレイベント ・キャラバン隊 等
3. 事務局 運営費	431	201	230	・消耗品 ・郵送料 等
合計	66,275	10,000	56,275	

第46回全国豊かな海づくり大会のスケジュール案

参考

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">開催申請</div> <p>7/29</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">開催決定</div> <p>11/5</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第1回準備委員会</div> <p>5/12</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第2回準備委員会</div> <p>7/14</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第1回総会</div> <p>10/20</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第2回総会</div> <p>3/27</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第3回総会 <small>(書面)</small></div> <p>6月</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">プレイベント</div> <p>11/1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第4回総会</div> <p>3月</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">実施本部設置</div> <p>4月</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第5回総会</div> <p>6月</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大会実施</div> <p>11/14</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第6回総会</div> <p>3月</p>
	幹事会を開催し、総会に諮る課題を検討。(必要に応じて専門部会を設置)		
主要議題	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;">・基本構想策定</div> <div style="width: 25%;">・基本計画策定</div> <div style="width: 25%;">・実施計画策定</div> </div>		
その他	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 75%;">・大会テーマ等の検討、大会リレー放流、放流魚種の検討、協賛の募集、各種PR行事の実施など</div> <div style="width: 20%;">・報告書作成</div> </div>		

※1 基本構想：開催意義、基本理念、基本方針、開催場所など大会の大枠を定めるもの。

※2 基本計画：式典行事、放流行事の会場配置、行事計画や大会の運営方針、広報計画などを盛り込んだ具体的計画。

※3 実施計画：実施本部の組織体制や大会当日における各行事のタイムスケジュールなどを盛り込んだ詳細な計画。